令和７年度　基本評価調書			所管部局	総合政策部	所管課	国際課	
施策名	ロシアとの経済交流				施策コード	0207	
政策の柱	産業活性化・業種横断分野				政策体系コード	1(6)E	
関連重点戦略計画等	知事の基本政策					事務事業数	3
特定分野別計画	北海道・ロシア地域間交流推進方針、北海道グローバル戦略						
SDGs					総合判定	やや遅れている	
予算額（千円）	R5	46,382千円	R6	38,418千円	R7	37,918千円	

施策目標	ロシアとの交流については、R2年6月に策定した「北海道・ロシア地域間交流推進方針」に基づき、本道が隣接する地域の平和と安定に寄与すること、また、ロシアの経済発展を本道経済の活性化に取り込むことを目標とし、方針で定める4つの交流の視点（①着実な交流、②未来につなぐ交流、③双方に利点のある交流、④選択と集中）により、国際情勢の推移などを注視しながら、適切に対応する。
現状と課題	（ロシア各地域との交流） ・ウクライナ情勢を背景にロシア各地域との交流の展開が困難な状況ではあるが、ロシアとの交流は自治体間の友好親善の促進や本道経済の活性化のみならず、北方領土問題の解決や平和条約締結に向けた環境の整備など、外交目標の達成に貢献し得るものと考えられることから、国際情勢を踏まえ、引き続きロシア側へ適切なアプローチを行う。 （ロシアビジネス関連企業への支援） ・ウクライナ侵略による影響を緩和し、今後の事業展開に係るリスクを分散するとの観点から、関係各所と連携し、道内ロシアビジネス関連企業等に対する支援を展開する。

<主な取組>

今年度の取組	（ロシア各地域との交流） ・ロシア極東3地域との常設合同委員会及びサハリン州との合同会議の開催、東方経済フォーラムへの参加 ・サンクトペテルブルク市とのワーキンググループの開催 ※ウクライナ情勢を勘案し、内容・実施時期を検討 （ロシアビジネス関連企業への支援） 道内ロシアビジネス関連企業等における他地域（中央アジア）への展開支援として、経産省及び道経産局、JICA北海道等と連携し、現地情報の収集･提供を実施する。
実績と成果	（ロシア各地域との交流） ・ロシア交流実施の検討にあたり、サハリン州政府や在ユジノサハリンスク総領事館等のロシア現地関係機関と意見交換を実施【R6.12月】 ・道内ロシア関係団体等との意見交換を実施【R7.4～6月】 （ロシアビジネス関連企業の支援） ・HIECC等共催による「中央アジアセミナー」の開催【R6.9月】 ・道内ロシアビジネス関連企業等との意見交換を実施【R7.5月】

参考HP①	ロシアとの地域間交流	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/russia_new_top.html
参考HP②		
参考HP③		

令和７年度　基本評価調書	【1(6)E_0207】ロシアとの経済交流

<指標分析> *成果指標の基準　要件(1)：アウトカム指標、要件(2)：「施策目標」や「現状と課題」に直結、要件(3)：総合計画等に掲げる指標*

成果指標①	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
輸出額（暦年）			億円	R4	R5	R6	R14	92.1%	B
			目標値	6,500.0	4,515.0	4,735.0	6,495.0		（90%以上100%未満）
			実績値	4,294.8	3,556.6	4,359.6			

設定理由 *要件(1)(2)*	本道から海外に向けた輸出状況を測る指標であり、本道とロシアの経済交流の取組に関する成果を測る指標として設定。
公表時期	毎年11月頃公表
根拠計画等 *要件(3)*	北海道総合計画

分析（主な取組と成果）

・R6実績値4,359.6億円のうち対ロシアの輸出額は119.6億円となり、主要品目として自動車並び自動車部品が99.66億円（83.3%）を占める。
・ロシアへの輸出等禁止措置により産業基盤関連品目やぜいたく品などの輸出が禁止となり、関連企業からのロシアへの輸出が滞っている。

成果指標②	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
ロシアからの来道者実人数			人	R3	R4	R5	R15	－	－
			目標値	－	－	－	－		
			実績値	138	885	1,378			

設定理由 *要件(1)(2)*	ロシアからの来道者数を測る指標であり、本道とロシア各地域との交流の取組に関する成果を測る指標として設定。 なお、人的交流は、ロシアとの経済交流を推進するにあたっての基盤・土壌となることから、成果指標として設定するが、ウクライナ情勢により大きく変動することから、目標値は設定していない。
公表時期	毎年4･10月頃公表
根拠計画等 *要件(3)*	北海道・ロシア地域間交流推進方針

分析（主な取組と成果）

･ロシアによるウクライナ侵略の影響により、日本とロシアとの往来が大きく制限されていることから、目標値を設定することが困難であり、達成率や指標判定ができない状況にある。

成果指標③	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*	
公表時期	
根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標④	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*	
公表時期	
根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標⑤	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*	
公表時期	
根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

令和７年度　基本評価調書	【1(6)E_0207】ロシアとの経済交流

<取組分析（連携状況、緊急性・優先性）>

連携状況	（課題） ウクライナ情勢により、これまでロシアとのビジネスに取り組んできた道内企業に大きな影響が出ており、個々の事業継続はもとより、官民が連携して構築してきたネットワークや貿易ノウハウ・人材喪失の危機にある。 （取組と成果） 経産省、道経産局、JICAなどとロシアビジネス関連企業等の支援を目的とした他地域（中央アジア）展開のための連携会議を随時開催。
緊急性・優先性	（課題） ロシアによるウクライナ侵略以降、ロシアを巡る国際情勢は大きく変化しており、今後のロシアへの追加制裁やロシアからの対抗措置等が、道内のロシア関係団体や企業へ更なる影響を及ぼす可能性がある。 （取組と成果） 経産省や在ロシア日本大使館、現地日系企業及び道内のロシア関係団体・企業から情報収集を実施。

<取組分析（その他統計数値等）>

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
ロシア関連行事数	R4	R5	R6
	0	0	0

（課題）

本道とロシア各地との交流は多様な分野で随時に実施しているところであるが、R4年2月のロシアによるウクライナ侵略以降、実施ができていない状況にある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
ロシアによるウクライナ侵略の影響により、今年度においても関連行事の実施が困難な状況にある。	c

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
本道からロシアへの輸出額（億円）	R4	R5	R6
	178	132	120

（課題）

ロシアによるウクライナ侵略の影響によるロシアへの輸出等禁止措置等の影響により、輸出額に大きな増減が見込まれており、状況を注視する必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
ロシアによるウクライナ侵略の影響により、今年度においてもロシアとの経済交流の推進が困難な状況にある。	c

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度

（課題）

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定

令和７年度　基本評価調書	【1(6)E_0207】ロシアとの経済交流

<一次政策評価（実施機関が行う政策評価）>　※「指標判定」と「その他統計数値等」はそれぞれ指標等の平均を算出

指標判定	B	連携状況	○	総合判定	やや遅れている
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	c		

■判定が「D」の成果指標
（該当なし）

	対応方針番号	内容
今後の対応方針	①	ロシアに経済制裁などを実施している現状では、ロシアへの輸出拡大に資する対策を講じることは困難であるが、国際情勢の変化に的確に対応するため、情報収集体制の強化などを図る。
	②	ロシアに経済制裁などを実施している現状では、ロシアからの来道者の増加を図ることは困難であるが、国際情勢の変化に的確に対応するため、情報収集体制の強化などを図る。
	③	

<二次政策評価（知事が行う政策評価）>

二次政策評価意見	【施策目標の達成状況】 総合計画に掲げる、海外成長力の取り込みによる本道の持続的発展のため、今後も起こり得るグローバルリスクへの機動的な対応や、新たな市場・需要の開拓によるリスク分散、北海道ブランドの国際競争力の更なる強化が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。

前年度の二次政策評価意見（区分）
総合計画に掲げる、海外成長力の取り込みによる本道の持続的発展のため、今後も起こり得るグローバルリスクへの機動的な対応や、新たな市場・需要の開拓によるリスク分散、北海道ブランドの国際競争力の更なる強化が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。

<一次政策評価を踏まえた対応状況（３月末時点）>

	対応方針番号	内容
翌年度の対応状況	①	ロシアに経済制裁などを実施している現状では、ロシアへの輸出拡大に資する対策を講じることは困難であるが、国際情勢の変化に適切に対応するため、経産局やJICA北海道など関係機関との連携を進め、情報共有を図る。
	②	ロシアに経済制裁などを実施している現状では、ロシアへの輸出拡大に資する対策を講じることは困難であるが、国際情勢の変化に適切に対応するため、経産局やJICA北海道など関係機関との連携を進め、情報共有を図る。
	③	

<二次政策評価意見への対応状況（３月末時点）>

二次政策評価意見への対応状況	経産局やJICA北海道など関係機関との連携により、道内ロシアビジネス関連企業の海外展開を支援する。

令和７年度　事務事業評価調書	施策名	ロシアとの経済交流	施策コード	0207

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
901		一般	サハリン州等ロシア極東地域友好・経済協力推進事業費（団体補助金分を除く）	・北海道サハリン事務所の運営 ・「道とサハリン州との友好･経済協力に関する提携」等に基づく友好･経済協力事業の基本方針等を協議するための諸会議の実施	国際課		26,706	26,706	1.6	0.5	2.1	43,874	①②	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照	※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照	改善
902		一般	サハリン州等ロシア極東地域友好・経済協力推進事業費（団体補助金分～北海道・ロシア極東交流事業実行委員会）	・北海道･ロシア極東交流事業実行委員会が行う道の対口施策に合致したサハリン州との友好交流事業に対する助成	国際課		1,666	1,666	0.1	0.0	0.1	2,484	②	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照	※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照	改善
903		一般	国際交流推進費（北海道・ロシア連邦地域間交流発展加速事業）	・ロシア極東地域との交流の深化に加え、欧露部等との交流を実施	国際課		9,546	9,546	0.6	0.3	0.9	16,904	①②	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照	※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照	縮小
計						0	37,918	37,918	2.3	0.8	3.1						